未来へつなぐ 平和への願い

市は、昭和61年、市制施行20周年の年に平和都市宣言をし、恒久平和の実現と核兵器の廃絶に向けて努力することを誓いました。平和に過ごせる毎日に感謝するとともに、平和な未来を築き、次の世代に引き継ぐため、平和への願いを持ち続けていきましょう。

今回は、この夏に皆さんに改めて平和について考えていただくための企画や、市役所前庭でたくましく生きる「被爆アオギリ2世」についてご紹介します。

○問い合わせ　政策秘書室（内線434）

夏の平和企画　この夏、涙が止まらない。

～映画「アオギリにたくして」無料上映会～

第1部 映画上映会

広島の平和記念公園の被爆アオギリの木の下で、自らの被爆体験とその後の壮絶な人生を語り、戦争や核の恐ろしさを伝え続けた一人の女性の実話に基づく物語。彼女が生涯をかけて伝えようとした平和のメッセージを、この映画を見て感じてください。

脚本・監督：中村柊斗（なかむらしゅうと）
出演：風見しんご（かざみ）、斉藤（さいとう）とも子、原田出子（はらだいでこ）（特別出演）　他

第2部 講演会&ミニライブ

○モデルとなった沼田鈴子（ぬまたすずこ）さんについての講演
○映画主題歌、挿入歌の生演奏　など
企画・製作・統括プロデューサー：中村里美（なかむらさとみ）
プロデューサー・音楽監督：伊藤茂利（いとうしげとし）

中村里美さん

募　集

とき 8月27日（日）
午後1時～4時（予定）

ところ 文化会館 5階
多目的ルームA

定員 60人 ※応募多数は抽選

申込 8月10日（木）までに、参加者全員の氏名、代表者の電話番号を電話、FAX（048-431-6790）、電子メール（hisyo@city.toda.saitama.jp）で政策秘書室へ

アオギリが伝える「命」と「平和」

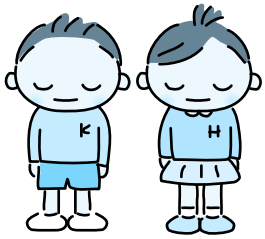
平和記念公園のアオギリは、原爆によって幹の半分を焼かれながらもたくましく生き続け、被爆と敗戦の混乱の中にあった広島の人々に生きる希望を与えました。

実は、そのアオギリの子どもにあたる「被爆アオギリ2世」が、市役所前庭から私たちを見守っています。被爆アオギリから生まれた苗木を広島市から譲り受け、平成18年に広島の平和記念式典に「平和大使」として参加した市民や市長により、同年8月に植樹されたものです。

戦争の体験を後世に語り伝える人のことを語り部（べ）と呼びます。戸田市の被爆アオギリ2世も、被爆アオギリの意志を受け継ぎ、強くたくましく生き続けることで、無言の語り部として私たちに「命の大切さ」や「平和の尊さ」を語り伝えようとしているに違いありません。

市役所前庭の被爆アオギリ2世

黙とうを捧げましょう

広島原爆の日 8月6日（日）、午前8時15分～
長崎原爆の日 8月9日（水）、午前11時2分～
終戦記念日 8月15日（火）、正午～
◉問い合わせ　福祉総務課（内線298）

広島市と長崎市では、原爆が投下された8月6日と9日に、原爆被爆72周年の慰霊、平和祈念の式典が行われます。また、8月15日の太平洋戦争の終戦記念日には、政府主催の全国戦没者追悼式が行われます。6日と9日には原爆死没者の冥福と世界恒久平和を、15日には戦没者の冥福と世界平和を祈り、1分間の黙とうを捧げましょう。